

三原市立宮浦中学校第1学年 音楽科学習指導案

題材名：日本の伝統音楽に親しもう「さくらさくら」

指導者：三原市立宮浦中学校 宮本 美子

- 1 日 時 : 平成28年 1月20日(水) 第5校時
2 場 所 : 第2音楽室
3 学年・学級 : 第1学年3組(39名)
4 題材名 : 日本の伝統音楽に親しもう「さくらさくら」

(1) 題材観

本題材は、箏の演奏や鑑賞を通して、和楽器の豊かな音色を味わい、箏を演奏するための基礎的な奏法を身に付け、強弱や速度変化の工夫をすることで表現力を高めることをねらいとする。学習指導要領〔第1学年〕A表現(2)イ「楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること」の内容に位置づけられている。共通事項のうち、音色・速度を扱う。

「さくらさくら」は、箏の手ほどきに使われていた曲で、1カ所だけ左手の弱押しがあるが、右手の親指でほぼ演奏できるように編曲しており、初心者でも弾きやすい。その分、良い音色を奏でる為に必要な、正しい姿勢や奏法に意識を持たせることができる。実際に自分自身で演奏する経験を踏まえて、箏曲「六段の調べ」や、「春の海」の鑑賞につなげることで、箏の豊かな音色の響きや、様々な奏法、日本の伝統文化の特徴である序破急などの間の取り方の美しさを感じ取らせる。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【知識・スキル】①課題解決力②知識・情報活用能力③表現力④コミュニケーション能力

【意欲・態度】⑤協調性・柔軟性⑥責任感⑦主体性・積極性

【価値観・倫理観】⑧自己理解⑨共感力⑩公共心⑪人としての思いやり

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【知識・スキル】

④コミュニケーション能力

・生徒同士がアドバイスをしあいながら練習をさせる中で、自分の気付きを相手に伝える力や相手の意見を聴く力を育成する。

【意欲・態度】

⑤協調性・柔軟性

・楽器の数が限られている学習環境の中、1人が楽器に触れられる時間より、他の生徒が練習する時間の方が長くなってしまいが、全員初心者という状況で、グループ全員が演奏できるようになることを目標とし、その目標達成を共に喜びあう感性を育成する。

(3) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒は、箏を演奏したことがある生徒が5人しかおらず、初めて箏に触れる生徒が多い。事前アンケートの結果から、「楽器を演奏することに興味がある」という質問に対し、94%の生徒が肯定的な回答であった。しかし、演奏してみたい楽器の種類を書かせると、ほとんどの生徒が鍵盤楽器や、オーケストラで使用する西洋

の楽器で、和楽器（箏、三味線、尺八、和太鼓など）を挙げた生徒は23%であった。また、「日本の伝統音楽を美しい」と感じる生徒は94%であったが、「日本の伝統音楽に興味がある」という生徒は74%であった。

これらのことから、日本の伝統音楽や和楽器が生徒にとって、あまり身近なものではなく、美しさを感じるものの、興味関心は高くないことが考えられる。

(4) 指導観（指導改善のポイント）

生徒同士のコミュニケーションを大切にしながら、箏の基礎的な奏法を身に付けさせるために、グループで練習することを基本とする。その取り組みの中で、生徒同士がアドバイスできるよう、導入時に正しい姿勢と奏法に関するチェックポイントを全体確認し、視覚教材で示す。グループ全員で関わりながら練習させることで、コミュニケーション能力の育成を図る。

基礎的な奏法が身に付いていることの確認や、ふさわしいアドバイスができたかどうかの確認をするため、グループ活動での自分の言動を振り返り、ワークシートにまとめさせる。その内容で良いものについて生徒に披露し、活用させることで、クラス全体の協調性を高める。

「さくらさくら」で箏に親しんだ後に、箏曲「六段の調べ」や「春の海」の鑑賞につなげることで、箏の美しい音色や様々な奏法について生徒の興味関心を高め、日本の伝統音楽への理解を深める。

(5) 題材の目標と評価規準

題材の目標

- 「さくらさくら」の曲想や箏の音色に関心を持ち、箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組む。
- 箏の美しい音色や「さくらさくら」にふさわしい速度（間の取り方）を知覚し、それらが生み出す効果を感じながら、音楽表現の創意工夫をする。
- 箏曲「六段の調べ」と「春の海」の音色、速度（間や序破急）を知覚し、それらが生み出す特質、雰囲気を感じ、鑑賞の能力を高める。

題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①「さくらさくら」の曲想や箏の音色に関心を持ち、箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 ②箏曲「六段の調べ」や「春の海」の曲想を味わい、興味関心を持って鑑賞している。	①箏の美しい音色や「さくらさくら」にふさわしい速度（間の取り方）を知覚し、それらが生み出す効果を感じながら、音楽表現の創意工夫している。	①良い姿勢、爪の正しいつけ方、箏の基礎的な奏法を身に付けている。 ②音色や速度の工夫をしながら、「さくらさくら」を演奏できる。	①箏曲「六段の調べ」と「春の海」の音色、速度（間や序破急）を知覚し、それらが生み出す特質、雰囲気を感じている。

(6) 指導と評価の計画

全4時間 (本時は2/4)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価 (評価方法)	
		関	考	表	知		評価規準
1	<p>箏の音色について考え、箏を演奏する時にふさわしい姿勢や爪の付け方について学習する。</p> <p>課題の設定</p> <p>情報の収集</p>			○		ウ①良い姿勢、爪の正しいつけ方、箏の基礎的な奏法を身に付けている。	
2	<p>前時の授業を振り返り、良い音色を奏でる為に、正しい姿勢に気を付け、曲にふさわしい速度を意識しながら「さくらさくら」の練習をグループで行う。</p> <p>整理・分析</p> <p>実行</p>	○			◎	<p>ア①「さくらさくら」の曲想や箏の音色に関心を持ち、箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>イ①箏の美しい音色や「さくらさくら」にふさわしい速度(間の取り方)を知覚し、それらが生み出す効果を感じながら、音楽表現の創意工夫している。</p>	④コミュニケーション能力(行動観察・ワークシート)
3	<p>音色や速度(間の取り方や全体の速度)を工夫しながら「さくらさくら」を演奏し、発表する。</p> <p>まとめ・創造・表現</p>			○		ウ②音色や速度の工夫をしながら、「さくらさくら」を演奏できる。	⑤協調性(行動観察)
4	<p>振り返り</p>	○				<p>イ②箏曲「六段の調べ」や「春の海」の曲想を味わい、興味関心を持って鑑賞している。</p> <p>◎ エ①箏曲「六段の調べ」と「春の海」の音色、速度(間や序破急)を知覚し、それらが生み出す特質、雰囲気を感じている。</p>	

(7) 本時の展開

(1) 本時の目標

良い音色を奏でるために、正しい姿勢や弾き方を意識しながら、「さくらさくら」の前半が演奏できる。

(2) 観点別評価規準

ア①「さくらさくら」の曲想や箏の音色に関心を持ち、箏の基礎的な奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組んでいる。

イ①箏の美しい音色や「さくらさくら」にふさわしい速度（間の取り方）を知覚し、それらが生み出す効果を感受しながら、音楽表現の創意工夫している。

評価方法：行動観察、ワークシート

(3) 準備物

箏 11面、譜面台 11脚、角爪、拡大楽譜

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする 資質・能力 ●評価
導入	<p>【本時の目標】良い音色を奏でるために、正しい姿勢や弾き方を意識しながら、「さくらさくら」の前半が演奏できる。</p> <p>○箏の良い音色について意見交流し、そのために必要な姿勢について全体で確認する。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">個人思考</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">課題の設定</div>	<p>■生徒の発表だけでなく、模範演奏を通して、音を聴いて確認できるようにする。</p> <p>◆1時で書いたワークシートを使って振り返る。</p> <p>◆教科書や視覚教材で示しながら、ポイントをおさえる。</p>	
展開	<p>○グループで「さくらさくら」の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">集団思考</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">整理・分析</div> <p>○発表する。</p> <p>○音色や曲にふさわしい速度を考えながら練習する。</p>	<p>■姿勢、正しい弾き方についてお互いアドバイスしながら練習するよう指示をして、机間指導する。</p> <p>◆どこに気を付けるとよいか、板書で示しているポイントについて確認させ、演奏やアドバイスに活用させる。</p> <p>■できていることと、改善点を明確に評価する。</p> <p>◆どのような景色を歌っている曲か考えさせ、ただ弾けるようになるだけでなく、音色や速度に意識を持たせる。</p>	<p>④コミュニケーション能力</p> <p>グループ全員で関わり合う意識を持ち、自分が練習していない時にも、相手を思いやった声掛けや、アドバイスをしながら、練習できている。</p>

ま と め	<p>○自己評価をワークシートに書く。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">振り返り</p>	<p>■どこまでできたかを書かせるのではなく、何に気を付けて演奏したか、グループでどのような関わりができたかについて振り返らせる。</p> <p>◆視覚教材で示しているポイントについて、自分の演奏や他者へのアドバイスができたかどうかを書かせる。</p>	
-------------	---	--	--

(5) 板書計画

<p>本時の目標 <u>良い音色</u>に意識しながら「さくらさくら」の前半が演奏できる。</p> <p>箏の音色 生徒の意見 (例)・和風 ・弾くような音 ・ピーン ・日本らしい</p> <p>良い音色を奏でるために必要なこと ・姿勢 ・正しい弾き方 P26~27</p> <p>その一、 座り方 正座し、足は左側へ向ける。</p> <p>その二、 左手の位置 弦に触れる。</p> <p>その三、 右手の位置 薬指を軸にして、爪を斜め下に押し出す。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; margin: 0;">「さくらさくら」 楽譜</p> </div>
---	--